

平成26年第1回福岡県教育委員会会議（定例会）会議録

1 開催日時

平成26年1月9日（木）15時00分から15時51分まで

2 場所

福岡県庁4階 教育委員会会議室

3 出席委員

住吉徳彦、二子石竜子、清家渉、久保田誠二、宮本美代子、杉光誠（教育長）

4 欠席委員

なし

5 出席事務局職員

教育次長 城戸秀明、理事 堀秀行、総務部長 西牟田龍治、
教育企画部長 川添弘人、教育振興部長 吉田法稔、総務課長 辰田一郎、
財務課長 加唐司、文化財保護課長 伊崎俊秋、企画調整課長 中藪宏、
社会教育課長 木原茂、教職員課長 大場茂嘉、施設課長 原正彦、
高校教育課長 米原泰裕、義務教育課長 家宇治正幸、
人権・同和教育課長 小川節、体育スポーツ健康課長 原田靖

6 会議

開会に先立ち、住吉委員長から年頭のあいさつがあった。

住吉委員長から、去年は、学力、体力、いじめ、体罰、不登校問題など種々様々な問題に対して、皆さんには真摯に、また全力を挙げて取り組んでいただいた。本年も、高校での日本史をどのように扱うのかといった問題など、様々な問題提起がなされるだろうと思う。教育委員会制度の在り方をはじめ、様々な問題が多様化するという時代の流れである。我々も新しいことには新しい目を向け、新たな努力、姿勢で取り組む必要がある。同時に、今まで皆さんが取り組んできたことに胸を張り、足元を見つめ、着実に行政に取り組まなければならない年だと思う。我々、教育委員会も全力を挙げて皆さんを支え、新たな意見を提示していくという姿勢で取り組んで行きたい旨のあいさつがあった。

15時00分、住吉委員長が開会を宣言し、本日の議題について非公開発議の有無の確認を行った。

第2号議案「平成25年度福岡県教育文化表彰について」は、二子石委員から、個人及び団体の顕彰に関する案件のため非公開とする発議があり、直ちに採決され、出席委員の3分の2以上の賛成をもって非公開と決定された。

その他の議案については、非公開の発議なく公開と決定された。

(1) その他

- ・平成25年12月定例県議会における教育委員会答弁要旨

杉光教育長から、12月定例県議会における教育委員会関連の代表質問、一般質問に対する答弁要旨について説明があった。

(代表質問) 学校の危機管理体制、教科書採択、道德教育、全国学力・学習状況調査、県立高校のグローバル化、教育委員長と教育長の役割や権限、今後の地方教育行政の動向、少人数学級の推進、ICTを活用した教育、英語専用教室の整備、業務使用パソコンのOS、体罰に関するアンケート調査、防災給食、地域間の学力格差等

(一般質問) 無形民族文化財、自転車通学時のヘルメット着用、「玄海の家」の機能充実、家庭教育支援、ふくおか・まごころ駐車場、学びの共同体、筑豊地区の学力向上、子どもの規範意識向上、聴覚特別支援学校における手話での授業、海外修学旅行、教育の地域間格差、古賀市出土品への支援、学習意欲の向上等

次いで、住吉委員長から、ICTを活用した教育の推進における県教育センターの機能充実等について質問があった。

これに対して、杉光教育長から、県教育センターと本庁や学校が連携して、より実践的なICT機器を活用した授業研究を進めていきたい旨の説明があった。

(2) 議事

- ・第1号議案 新たな中高一貫教育校の整備計画について

中菌企画調整課長から、当該整備計画に関しては、先に開催された委員協議会等においても協議を行ってきたところであるが、本日は「中高一貫教育研究指定校」として指定した宗像高等学校及び嘉穂高等学校において進めてきた研究結果を踏まえ、新たな中高一貫教育校の整備計画を策定したい旨の説明があった。

次いで、久保田委員から、嘉穂高等学校のスーパーサイエンスハイスクール、いわゆるSSHの成果を発展させて構築しようとしている中高

大連携プログラムに関して質問があった。

これに対して、中菌企画調整課長から、国の事業を最大限に活用し、近隣大学との連携の充実も図っていく旨の説明があった。

住吉委員長から、SSHは国の事業であるので今後の状況は不透明であろうが、当該事業が終了した場合においては、県として何らかの支援を考えてほしい旨の意見があった。

次に、清家委員から、中高一貫教育校については、今までの学校との違いを示すことなどにより県民の理解を得る必要があると思うが、本県中高一貫教育校に通っている在校生や保護者からの評価について、質問があった。

これに対して、中菌企画調整課長から、既設の中高一貫教育校に対しては、毎年、生徒と保護者にアンケート調査を実施しており、80%から85%の保護者の方から、中高一貫教育校に進学してよかったと思うとの評価をいただいているとの説明があった。なお、新設となる中高一貫教育校についても理解が得られるように積極的に取り組んでいきたい旨の説明があった。

また、二子石委員から、新設となる中高一貫教育校について、中学校から高等学校へ進学する際のクラス編制等について質問があった。

これに対し、中菌企画調整課長から、嘉穂高等学校では、併設される中学校から高等学校へ進学する内進生は、原則として6年間、内進生のみでクラス編制を行うものとして研究を進めているところであるが、宗像高等学校では、高校2年次以降は、内進生と外部募集の生徒との混合クラス編制を行うものとして研究を進めているところである旨の説明があった。

また、二子石委員から、新設となる中高一貫教育校の教職員の配置について質問があった。

これに対し、中菌企画調整課長から、県立中学校については中学校の教員免許を所持している県立学校の教員を配置するほか、地元市町村にも教職員配置についての協力をお願いしていきたい旨の説明があった。

また、宮本委員から、中高一貫教育校における入学者の決定に関して質問があった。

これに対し、中菌企画調整課長から、各学校共通の適性検査を実施するほか、学校ごとに作文と面接を実施し、各学校に対する生徒の適性を判断している旨の説明があった。

住吉委員長から、他の意見の有無を問い、これについては全員異議なく、第1号議案は原案どおり可決された。

公開審議はここまでとされ、住吉委員長から傍聴人に対して退出が求められた。以後非公開にて審議を行う。

(3) 議事

- ・ 第2号議案 平成25年度福岡県教育文化表彰について

辰田総務課長から、前回の教育委員会会議における協議内容を踏まえ、福岡県教育委員会表彰規則に基づき、受賞者を決定するものである旨の説明があった。

次いで審議が行われ、第2号議案は原案どおり可決された。

住吉委員長が閉会を宣言し、15時51分閉会した。